

J R 笠岡駅周辺整備基本構想図

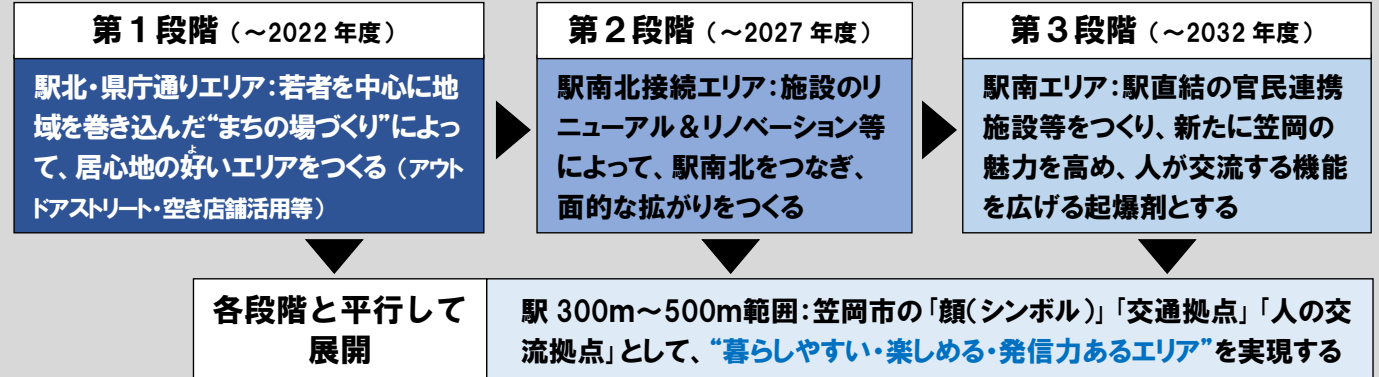
◆めざす目標像

港町・寺町などの「歴史・文化」、海・山に親しみやすい「自然」が共存し、誰もが居心地の好い居場所を見つけられる、市の中心にふさわしい「都市機能拠点」(まち)として、歩いて回れる魅力的なスポットや施設がつながることで、市民や来訪者の出会いや交流(ひと)、新たな仕事や創作活動などを通じた次世代を担う若者らの活躍や集い(しごと)が活発に生まれるエリア

◆まちづくりの方向性

- 方向性1 交流を育む都市機能拠点の形成
- 方向性2 健康をつくる歩いて暮らせるまちづくり
- 方向性3 若者が集う賑わいのあるまちづくり

◆プロジェクト展開イメージ(例)



◆各段階のプロジェクト一覧

第0段階 (～2017年度)	<p>エリア内で以下の取り組みがすでに進められている</p> <ul style="list-style-type: none"> 0-1 デジタルサイネージの設置 (2015年度～) 0-2 いいとこめぐりバス (2015年度～) 0-3 フラワーアートステーション (2015年度～) 0-4 町のテラス開設 (2016年度) 0-5 旅客船ターミナル「みなと・こぼなし」の開設(2016年度) 0-6 井戸会館再生 (2017年度) 0-7 東本町商店街リニューアル (2017年度予定) 0-8 中心市街地空き店舗利用促進補助事業 (2017年度～)
第1段階 (～2022年度)	<p>1-1 市民まちづくり活動促進事業(2018年度～)</p> <p>駅北・県庁通りで、若者を中心に地域を巻き込んだ、“まちの場づくり”によって、居心地の好いアウトドアストリートをつくる。(例:道路空間を活用し人が溜まれる場づくり、公園・空き家・空き店舗を活用した交流空間づくり、空き地を活用した時間貸し駐車場など)</p>
第2段階 (～2027年度)	<p>2-1 笠岡駅整備事業(橋上化・自由通路等)</p> <p>橋上化をめざして駅リニューアルを行い、駅南北の接続性、本エリアの回遊性、エリアの一体性を高める。</p> <p>2-2 笠岡駅南口駅前広場整備事業</p> <p>2-1にあわせて、笠岡駅南側に駅前広場(一般車送迎スペース、タクシー・バスの乗降場など)を整備する。</p> <p>2-3 歴史的建築物活用促進事業</p> <p>エリア内の歴史的建築物をリノベーション等による新たな機能導入を促し、まちづくりに活用するため、民間が実施する改修事業等に補助を行う。</p> <p>2-4 ペDESTリアンデッキ等整備事業</p> <p>ペDESTリアンデッキ等を含め、駅から国道2号をまたぐ動線を整備し、駅南北の回遊性、エリアの一体性を高める。</p>
第3段階 (～2032年度)	<p>3-1 拠点の整備事業</p> <p>新たな用地の確保などにより、行政施設等の移転・集約等を含む官民連携の複合施設を整備する。民間テナント等と複合化し、交流拠点として機能を高める。(対象地:駅北の交流拠点、駅南の新交流拠点)</p> <p>3-2 水を巡る緑の回廊づくり事業</p> <p>十一番町と西ノ浜緑地を結ぶ歩行空間を整備する現計画に加えて、笠岡駅・住吉港・伏越港を繋ぐ歩行者動線を整備する。(歩道設置、歩車共存道路等美装化、休憩スペース設置など)</p> <p>3-3 官民連携によるまちづくり事業</p>
各段階と平行して展開	<p>空き家・空き地等の活用</p> <p>空き家・空き地、公共施設の跡地等を活用し、定住促進、医療・福祉連携、起業・就労支援に関する各拠点を設け、連携を図りながらゾーンごとに面展開する。(施設整備、仕組みづくり等)(対象地:図中 黄色のゾーン)</p> <p>エリア内外の回遊・周遊ルートの整備・情報発信・活用</p> <p>エリア内外の回遊やエリア外の観光拠点や主要施設への周遊のルートについて交通アクセス、歩行空間等の快適性向上に向けた取り組みとその情報発信を進める。</p>

